

貸借対照表(後期高齢者医療事業会計)

75歳（一定の障がいがある人は65歳）以上の方が加入し、医療給付等を受ける後期高齢者医療制度において、保険料を徴収し運営元である大阪府後期高齢者医療広域連合へ納付する後期高齢者医療事業の会計です。

資産の部では、「現金預金」や「ソフトウェア」があり、これらで資産総額の約9割を占めています。

前年度に比べ「建設仮勘定」や「未収金」の減などがあるものの、「ソフトウェア」や「現金預金」の増などにより、121百万円増加（[R元]12,100百万円 [R2]12,221百万円）しています。

負債の部では、職員の「退職手当引当金」が負債総額の約9割を占めています。

前年度に比べ「賞与引当金」や「リース債務」の減があるものの、「退職手当引当金」の増により、108百万円増加（[R元]546百万円 [R2]655百万円）しています。

純資産（資産総額 - 負債総額）は、13百万円増加（[R元]1,553百万円 [R2]1,566百万円）しています。

令和3年3月31日現在

(单位:百万円)

①【現金預金】

・内訳
歳計現金1,602百万円

前年度比
(+137百万円)

・増減：保険料収納率の向上などにより、前年度に比べ137百万円増加しています。

②【未収金】

後期高齢者医療事業における未収金

・主な内訳
後期高齢者医療保険料449百万円
貸倒引当金▲173百万円

前年度比
(▲13百万円)
(+9百万円)

・増減：保険料収納率の向上などにより、前年度に比べ14百万円減少しています。

③【ソフトウェア】

コンピュータ（国民健康保険等システム関係）を機能させるように指令を組み合わせで表現したプログラム等

・内訳
取得原価
国民健康保険等システム関係664百万円
減価償却累計額▲340百万円

前年度比
(+266百万円)
(▲106百万円)

・増減：減価償却による減があるものの、機種更新やシステム改修によるソフトウェアの増により、前年度に比べ159百万円増加しています。

④【建設仮勘定】

完成前の固定資産への支出等を仮に計上しておくための勘定科目

・増減：国民健康保険等システム関係の機種更新やシステム改修に伴うソフトウェアへの振替により、前年度に比べ169百万円減少しています。

【資産の部】	令和2年度	令和元年度	増減額	【負債の部】	令和2年度	令和元年度	増減額
流動資産	1,878	1,745	132	流動負債	41	44	▲2
①現金預金	1,602	1,465	137	地方債	-	-	-
②未収金	448	462	▲14	短期借入金	-	-	-
貸倒引当金	▲173	▲182	9	⑤賞与引当金	40	43	▲2
基金	-	-	-	未払金	-	-	-
貸倒引当金	-	-	-	還付未済金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	⑥リース債務	1	1	-
貸倒引当金	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	固定負債	613	502	110
固定資産	343	354	▲11	地方債	-	-	-
事業用資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	⑦退職手当引当金	608	496	112
重要物品	-	-	-	損失補償等引当金	-	-	-
リース資産	5	6	▲1	長期未払金	-	-	-
③ソフトウェア	323	164	159	⑧リース債務	4	5	▲1
④建設仮勘定	14	183	▲169	その他固定負債	-	-	-
出資金	-	-	-	負債合計	655	546	108
信託受益権	-	-	-	【純資産の部】	令和2年度	令和元年度	増減額
基金	-	-	-	累積余剰	1,566	1,553	13
貸倒引当金	-	-	-	評価・換算差額等	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	純資産合計	1,566	1,553	13
貸倒引当金	-	-	-	負債及び純資産合計	2,221	2,100	121
その他債権	-	-	-				
貸倒引当金	-	-	-				
資産合計	2,221	2,100	121				

⑤【賞与引当金】

令和3年6月支給の期末・勤勉手当の支払見込み額（共済費含む）のうち、貸借対照表日（令和3年3月31日）時点の負担相当額（令和2年度分）

⑥【リース債務（流動）】

リース契約によって借り入れている物件のリース料のうち、令和3年度の償還予定額

・内訳
住民情報系基幹システムサーバ機器等1百万円

前年度比
(-)

⑦【退職手当引当金】

貸借対照表日（令和3年3月31日）時点に全ての職員が自己都合退職した場合の退職手当支給見込額

⑧【リース債務（固定）】

リース契約によって借り入れている物件のリース料のうち、令和4年度以降の償還予定額

・内訳
住民情報系基幹システムサーバ機器等4百万円

前年度比
(▲1百万円)

行政コスト計算書(後期高齢者医療事業会計)

経常的な行政サービス提供コストである経常費用には、後期高齢者医療広域連合への納付にかかるコストである「負担金・補助金・交付金等」があり、経常費用のほぼ全体を占めています。
前年度に比べ「負担金・補助金・交付金等」の増などにより、2,473百万円増加（[R元]31,407百万円 [R2]33,880百万円）しています。
経常収益では、「保険料」や「他会計からの繰入金」があり、これらで経常収益のほぼ全体を占めています。
前年度に比べ「保険料」や「他会計からの繰入金」の増などにより、2,451百万円増加（[R元]31,507百万円 [R2]33,959百万円）しています。
その結果、経常収支差額は前年度に比べ21百万円減少（[R元]99百万円 [R2]78百万円）しており、臨時的な損失や利益による特別収支差額を合わせた当年度収支差額は、13百万円となっています。

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日 (単位:百万円)

①【負担金・補助金・交付金等】
後期高齢者医療広域連合への納付にかかるコスト
・増減：被保険者数の増等に伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増により、前年度に比べ2,287百万円増加しています。

	令和2年度	令和元年度	増減額		令和2年度	令和元年度	増減額
【経常費用】	33,880	31,407	2,473	【経常収益】	33,959	31,507	2,451
給与関係費	464	452	11	市税	-	-	-
賞与引当金繰入額	38	39	▲0	地方譲与税	-	-	-
退職手当引当金繰入額	112	▲22	134	交付金	-	-	-
物件費	280	292	▲11	地方特例交付金	-	-	-
維持補修費	1	0	0	地方交付税	-	-	-
減価償却費	108	81	26	③保険料	25,339	23,349	1,990
支払利息及び手数料	-	-	-	分担金及び負担金	-	-	-
貸倒損失	-	-	-	使用料及び手数料	0	0	▲0
貸倒引当金繰入額	76	50	26	国・府支出金	2	-	2
損失補償等引当金繰入額	-	-	-	④他会計からの繰入金	8,606	8,145	460
棚卸資産売却原価	-	-	-	棚卸資産売却収入	-	-	-
扶助費	-	-	-	受取利息及び配当金	-	-	-
①負担金・補助金・交付金等	32,798	30,511	2,287	その他経常収益	10	12	▲1
他会計への繰出金	-	-	-				
その他経常費用	-	-	-				
【経常収支差額】					78	99	▲21
【特別損失】	64	60	4	【特別利益】	-	0	▲0
資産除売却損	-	-	-	資産売却益	-	-	-
災害による損失	-	-	-	資産受贈益	-	-	-
貸倒損失	-	-	-				
出資金評価損	-	-	-	事業再編等に伴う移転損益	-	-	-
事業再編等に伴う移転損益	-	-	-	その他特別利益	-	0	▲0
②その他特別損失	64	60	4				
【特別収支差額】					▲64	▲60	▲4
【当年度収支差額】					13	39	▲25

③【保険料】
被保険者からの保険料による収益
・増減：被保険者数の増等に伴う保険料の増により、前年度に比べ1,990百万円増加しています。

④【他会計からの繰入金】
一般会計からの繰入金による収益
・増減：被保険者数の増等による基盤安定負担金の増に伴う繰入金の増により、前年度に比べ460百万円増加しています。

②【その他特別損失】
臨時的な事由にもとづく損失のうち、他の科目に属さないもの
・増減：保険料の過誤納金の還付（過年度分）の増などにより、前年度に比べ4百万円増加しています。

キャッシュ・フロー計算書(後期高齢者医療事業会計)

行政サービス活動収支差額は235百万円のプラスとなっています。

前年度に比べ「負担金・補助金・交付金等支出」の増などがあるものの、「保険料収入」や「他会計からの繰入金収入」の増などにより、124百万円増加〔R元〕111百万円〔R2〕235百万円〕しています。

投資活動収支差額は97百万円のマイナスとなっています。

前年度に比べ「固定資産取得支出」の減により、14百万円増加〔R元〕▲111百万円〔R2〕▲97百万円〕しています。

行政サービス活動収支差額のプラスによって、資産取得等の投資活動やリース債務償還の財務活動を行っていることがわかります。

行政サービス活動収支差額235百万円と、投資活動収支差額▲97百万円及び財務活動収支差額▲1百万円を合わせると、当年度現金預金増減額は137百万円のプラスとなっています。

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日 (単位:百万円)

【行政サービス活動によるキャッシュ・フロー】
投資活動及び財務活動以外の取引によるキャッシュ・フローを記載する区分

①【保険料収入】

被保険者からの保険料による収入

・増減:被保険者数の増等に伴う保険料収入の増により、前年度に比べ1,961百万円増加しています。

②【他会計からの繰入金収入】

一般会計からの繰入金による収入

・増減:被保険者数の増等による基盤安定負担金の増に伴う繰入金の増により、前年度に比べ460百万円増加しています。

③【負担金・補助金・交付金等支出】

後期高齢者医療広域連合への納付に関する支出

・増減:被保険者数の増に伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増により、前年度に比べ2,291百万円増加しています。

	令和2年度	令和元年度	増減額		令和2年度	令和元年度	増減額
【行政サービス活動収入】	33,884	31,461	2,422	【投資活動収入】	-	-	-
市税収入	-	-	-	資産売却収入	-	-	-
地方譲与税収入	-	-	-	基金繰入金(取崩額)	-	-	-
交付金収入	-	-	-	貸付金回収元金収入	-	-	-
地方特例交付金収入	-	-	-	他会計からの繰入金収入	-	-	-
地方交付税収入	-	-	-	保証金等返還収入	-	-	-
①保険料収入	25,265	23,303	1,961	その他投資活動収入	-	-	-
分担金及び負担金収入	-	-	-	【投資活動支出】	97	111	▲14
使用料及び手数料収入	0	0	▲0	④固定資産取得支出	97	111	▲14
国・府支出金収入	2	-	2	基金積立金	-	-	-
②他会計からの繰入金収入	8,606	8,145	460	出資金支出	-	-	-
棚卸資産売却収入	-	-	-	貸付金支出	-	-	-
受取利息及び配当金収入	-	-	-	他会計への繰出金支出	-	-	-
その他行政収入	10	12	▲1	保証金等支出	-	-	-
【行政サービス活動支出】	33,649	31,350	2,298	【投資活動収支差額】	▲97	▲111	14
給与関係費支出	505	487	17	【財務活動収入】	-	-	-
物件費支出	280	292	▲11	地方債収入	-	-	-
維持補修費支出	1	0	0	借入金収入	-	-	-
支払利息及び手数料支出	-	-	-	他会計からの繰入金収入	-	-	-
扶助費支出	-	-	-	その他財務活動収入	-	-	-
③負担金・補助金・交付金等支出	32,861	30,569	2,291	【財務活動支出】	1	2	▲1
他会計への繰出金支出	-	-	-	地方債償還金支出	-	-	-
その他行政支出	-	-	-	借入金償還金支出	-	-	-
【行政サービス活動収支差額】	235	111	124	⑤リース債務償還金支出	1	2	▲1
【当年度現金預金増減額】	137	▲2	139	他会計への繰出金支出	-	-	-
				その他財務活動支出	-	-	-
				【財務活動収支差額】	▲1	▲2	1

【投資活動によるキャッシュ・フロー】
固定資産の取得及び売却、金融資産の取得及び売却等によるキャッシュ・フローを記載する区分

④【固定資産取得支出】

固定資産の取得に関する支出

・内訳
国民健康保険等システム関係
97百万円 (▲14百万円)
前年度比

・増減:システム改修に伴う支出の増があるものの、機種更新に伴う支出の減により、前年度に比べ14百万円減少しています。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

資金の調達及び返済によるキャッシュ・フローを記載する区分

⑤【リース債務償還金支出】

リース資産に係るリース料(利息相当分を除く)の支払による支出